

教養論叢

No. 137 2016

論説

- ルカによる福音書 15 章における三つの譬えについて—— Luther 訳聖書と現代ドイツ語訳聖書に基いて—— (1) ●角谷善朗◆1
- ニーチェ『ツァラトゥストラ』における「力となる意志」 ●岩下真好◆27
- 自己表象と集団的記憶喪失——転換期を迎えた国立アメリカインディアン博物館 ●鈴木 透◆55
- Takarazuka Review Company and the Power of ‘Community’ ●TSUNEYAMA, Nahoko ◆87
- ジャン・コクトー『地獄の機械』の生成論的研究に向けて——執筆過程と現存する草稿の検証 ●笠井裕之◆101
- 現代中国の中央・地方関係をめぐる論争 ●磯部 靖◆143
- Japanese and British Supervisors’ Perceptions of Literature PhD Theses: A Descriptive Study ●ONO, Masumi ◆169

研究ノート

- 動物の体色発現と生きる戦略——これまでの研究を振り返って ●秋山豊子◆195
- 金正恩政権初期における朝鮮労働党中央委員会機関誌 ●磯崎敦仁◆235

翻訳

- 3つの記憶の物語 ●横山千晶◆273

エッセイ・翻訳

- ステイーヴン・クレインの総括——「若者のペース」と「仰向けの顔」 ●久我俊二◆303

特別記事

- 春の寿ぎ ●下村 裕◆331
-
-